



ZOOMER バーハンドルフルキット 取扱説明書

商品番号 : 06-02-0202
適応車種 : ZOOMER
フレーム番号: AF58-1000001 ~

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
- ◎当製品はあくまでカスタムの素材としてご使用下さい。
- ◎補修部品に付きましては商品番号及び図中の番号にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。
- ◎LCDメーターは、下記の事に注意してご使用下さい。
 - ・表示部に使用している液晶の性質として、長時間直射日光を受けると液晶画面が黒くなります。
 - ・なるべく液晶部分に直射日光が当たらないように気を付けて下さい。万が一変色した場合はメーター本体を直射日光から避け、冷やして下さい。
 - ・また、真夏等強い直射日光下で長時間放置した場合は、シミのような後遺症が残る支障が生じる可能性がありますので、特に気を付けて下さい。
 - ・本商品は完全防水ではありません。
 - ・湿度の高い状態で、ご使用になりますと、本体内に水分が侵入し画面が曇ってしまう可能性があります。曇ってしまった場合は、メーター本体裏面の配線コード取り出し部のゴムキャップを手前にずらし（配線を無理に引っ張らないように慎重に行ってください）、隙間を作り水分を乾燥させて下さい。

バーハンドルキットについて

- ◎当キットはメーター機能をコンパクトにまとめたラージLCDメーターと、ステアリングハンドルパイプのミドルアップハンドル（クロームメッキ）を含んだキットです。当製品のみで、バーハンドル化が可能となっております。
- ハンドルパイプに関しては付属のハンドルパイプ以外に下記のハンドルが取り付け可能となっております。
 - ・ステアリングハンドルパイプ ミドルアップタイプ
(ステンレス 06-01-222)
(ブルーアルマイト 06-01-253)
(シルバーアルマイト 06-01-255)

※付属品、推奨品以外のハンドルの使用は自己責任で行ってください（取り付け出来ない場合があります）。



注意

下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・スピードメーター変換後は運転者に注意を促す速度警告灯の機能が無くなりますので、ご注意ください。一般公道では、法的速度を守り違法運転を心掛けて下さい。（法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）



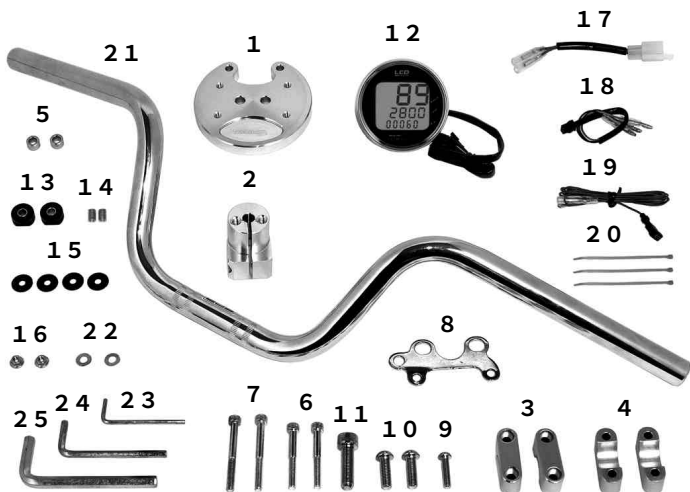
警告

下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・技術・知識等が無い方は、作業を行わないで下さい。（部品破損等の原因により、転倒・事故につながる恐れがあります。）
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
- ・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
- ◎クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂けます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
- ◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

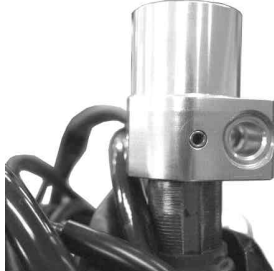
～商 品 内 容～



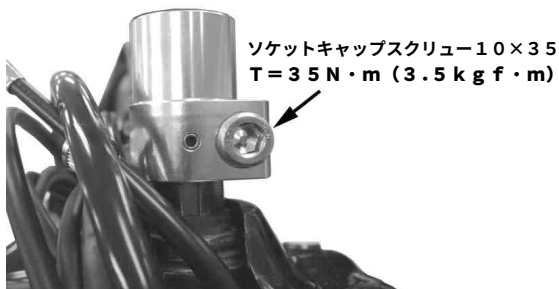
番号	部 品 名	数量
1	ハンドルポスト1	1
2	ハンドルポスト2	1
3	ハンドルアッパーホルダー	2
4	ハンドルローワーホルダー	2
5	カラー	2
6	ソケットキャップスクリュー 6 X 5 0	2
7	ソケットキャップスクリュー 6 X 6 0	2
8	スピードメーターステー	1
9	ボタンヘッドキャップスクリュー 6 X 2 0	1
10	ボタンヘッドキャップスクリュー 8 X 2 5	2
11	ソケットキャップスクリュー 1 0 X 3 5	1
12	メーターASSY.	1
13	クッションラバー	2
14	メーターマウントカラー	2
15	ブレンワッシャ (黒)	4
16	六角フランジナット 5mm	2
17	サブコード	1
18	電源用コード	1
19	パルス入力コード	1
20	タイラップ100mm	3
21	ミドルアップハンドル (クロムメッキ)	1
22	ブレンワッシャ 6mm	2
23	六角棒レンチ 4mm	1
24	六角棒レンチ 5mm	1
25	六角棒レンチ 8mm	1

～取 り 付 け 要 領～

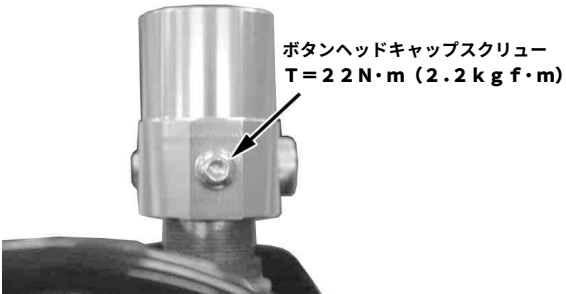
1. キット内容を確認します。
2. 作業に適した工具を用意します。
3. センタースタンドを使用して車体を確実に支えます。
4. ホンダ純正サービスマニュアルを参照して以下の部品を取り外します。
 - ・ R . ハンドルスイッチ
 - ・ スロットルグリップ
 - ・ L . ハンドルスイッチ
 - ・ L . ハンドルグリップ
 - ・ ハンドル
 - ・ スピードメーターケーブル
 - ・ スピードメーター
- ※取り外しの際、ワイヤー類はハンドルのケーブルガイドから取り外して下さい。
- ※スピードメーターの電極カブラ、コードの取り外しはスピードメーター取り付けの際に取り外して下さい。
5. キット内容のハンドルポスト2の向きに注意して取り付けます。
突起がある方をステムシャフトの溝がある位置に取り付けて下さい。



6. ハンドルホスト2をステムシャフトに取り付けたらソケットキャップスクリュー10X35を取り付け、指定トルクで締め付けます。
注意：規定トルクを必ず守って下さい。
 $T = 3.5 \text{ N} \cdot \text{m} \text{ (3.5 kgf} \cdot \text{m)}$



7. ハンドルポスト2を取り付けたら、下の写真を参考にボタンヘッド
キャップスクリュー6 X 20を取り付けます。
注意：規定トルクを必ず守って下さい。
T = 2.2 N・m (2.2 kgf・m)



8. ハンドルポスト1を、ボタンヘッドスクリー8 X 2 5を使用して取り付け、指定トルクで締め付けます。

注意：規定トルクを必ず守って下さい。

$T = 22 \text{ N} \cdot \text{m} \text{ (} 2.2 \text{ kg f} \cdot \text{m)}$



9. 付属のハンドルパイプを仮付けして、ハンドルの取り付け角度、R.ハンドルスイッチ、L.ハンドルスイッチの取り付け位置を決定します。

※L.ハンドルスイッチ、R.ハンドルスイッチのクランプ部には位置決め用の突起があります。取り付けの際には、その突起を削り取るかハンドルパイプ部に穴を開けて下さい。

※L.ハンドルスイッチ、R.ハンドルスイッチの取り付け位置の決定は慎重に行ってください。

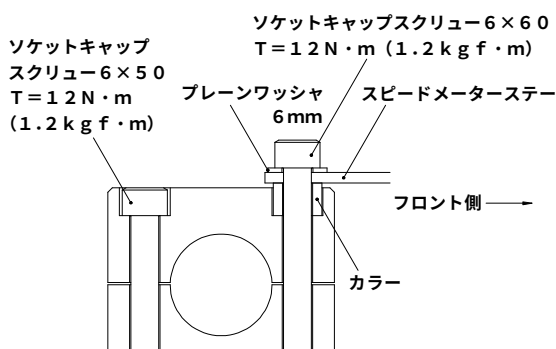
10. ステアリングハンドルパイプの取り付け角度を決め取り付けます。この時、ハンドルアップホルダーフロント側のザグリ部にキット内のカラーを入れ、スピードメータステーを同時に取り付けます。(図参照)

取り付け出来たらソケットキャップスクリーを指定トルクで締め付けます。

注意：規定トルクを必ず守って下さい。

$T = 12 \text{ N} \cdot \text{m} \text{ (} 1.2 \text{ kg f} \cdot \text{m)}$

※ハンドルホルダーは前後の隙間が同じになる様に締め付けて下さい。



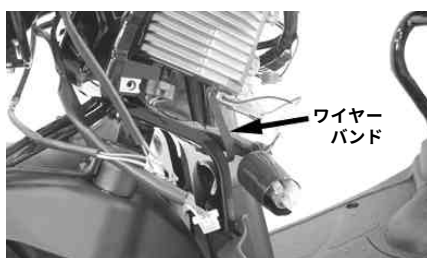
11. 取り付け要領3. で取り外したL.ハンドルスイッチ、スロットルグリップ、R.ハンドルスイッチ、L.ハンドルグリップ等を取り付けます。

スピードメーターの取り付け

1. フロントインナーカバーを固定してあるスクリー4本を緩め、爪2箇所をフロントカバーから外し、フロントインナーカバーを取り外します。



2. ウィンカー及びヘッドライトのコードを固定してあるフロントカバー付属のワイヤバンドを外し、ウィンカーコネクタとヘッドライトカブラの接続を外します。



3. ヘッドライトブラケット固定ボルト3本と、フロントカバー固定スクリー2本を外し、ヘッドライトブラケット及びフロントカバーを取り外します。

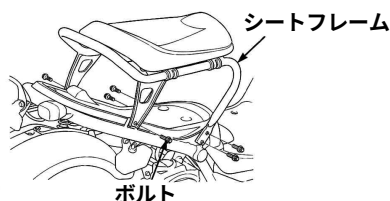


4. メーターの3 P白カブラ及び黒色コードの接続を外し、メーターを外します。

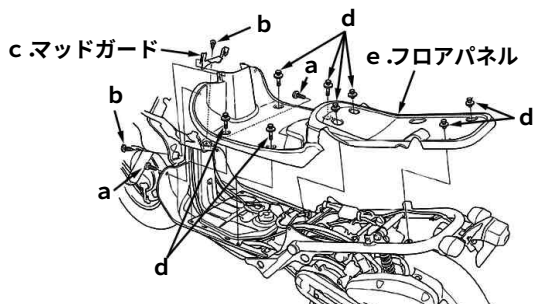
5. メーターASSY.のコードの黒カブラと電源用コードの黒カブラを接続し、電源用コードの赤及び黒コードとサブコードの茶及び緑のコードを接続して下さい。また、サブコードの白3 Pカブラを車体側メーター照明用コードの3 Pカブラに接続して下さい。

	サブコード	電源用コード
(+)	茶	赤
(-)	緑	黒

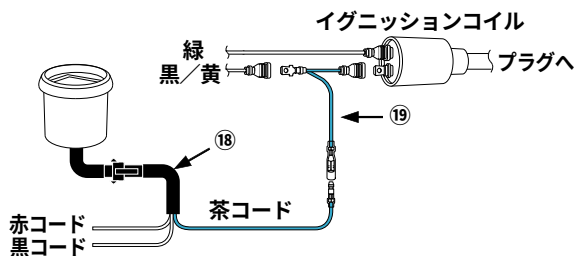
6. シートフレーム固定ボルト6本を外し、シートフレームを車体より外して下さい。



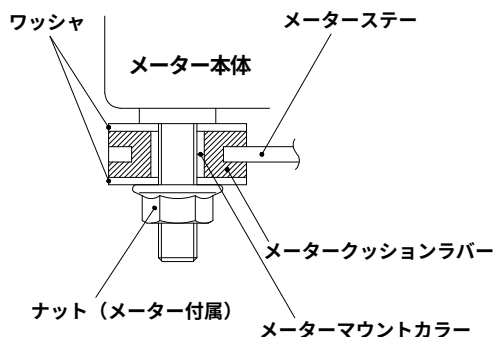
7. a～eの順にマッドガード及びフロアパネルを取り外して下さい。



8. イグニッションコイル黒／黄コードを外し、パルス入力コードをその間に入れ接続して下さい。
パルス入力コードの丸メスギボシ側をフレームに沿わせながらメーター付近まで取りまわし、電源用コードの茶コードと接続して下さい。フレームに沿わせたコードは、緩まないようにタイラップにて2箇所固定し、余ったコードをタイラップにてフロントカバー内で束ね、固定して下さい。余ったタイラップ先端部は、ニッパー等で切断して下さい。



9. スピードメーターをスピードメーターステーに固定します。取り付けはラバーマウントで取り付けますので、図を参考に取り付けして下さい。



スピードメーターケーブルに、メーターを取り付ける前に、メーターケーブルの取り付け位置を変更します。
写真を参考にし、ガイド、ブレーキケーブルの外側にスピードメーターケーブルを通します。

※フロントブレーキパネルからメーターケーブルを取り外す際はサービスマニュアルを参照し、行って下さい。

スピードメーターケーブル



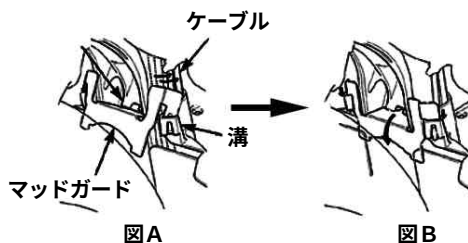
10. エン진을始動し、メーターの照明が点灯するか確認して下さい。

※始動は風通しの良い場所で行って下さい。正常に作動しない場合は接続不良等が考えられますので、再度確認して下さい。

11. 外装品を取り外した手順の逆手順で取り付けして下さい。なお、マッドガードは下記手順にて取り付けして下さい。(図A、B参照)

A. ケーブル2本を車体後方へずらしながら、マッドガードの両端の爪部をフロアパネルの溝にはめ込み、中央部をフレームのボスの下にセットして下さい。

B. マッドガードの両端爪部の凸部分が、フロアパネルの溝部にきちんとはまり込む様に取り付けて下さい。



SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>

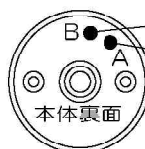
αタイプ追補

ラージLCDメーターαのタコメーター設定について

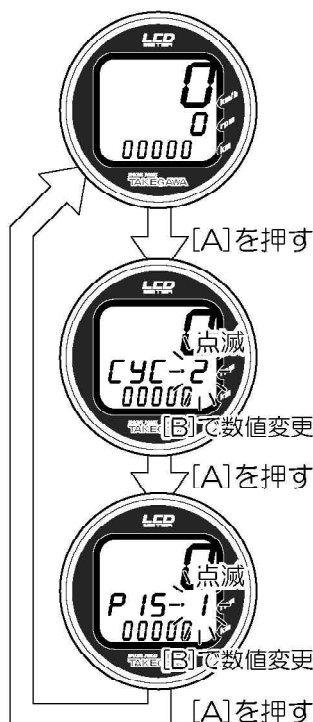
本ページは各種キット共通内容となっております。
お客様のバイクに合わせた値にメーター設定値を切り替えて下さい。

車名	商品番号	CYC-	PIS-
マグナ50	09-01-0211	2	1
スーマー（キャブレター車）	06-02-0202/09-01-0056	2	1
TODAY（キャブレター車）	06-02-0303	2	1
AF62 ディオ	06-02-0301	2	1
スぺィシー100	06-02-0305	2	1
ディオ（2サイクル）	06-02-0302	2	1
JOG（2サイクル）	06-02-0304	2	1
XR50/100モタード	09-01-0288	2	1
XR250モタード	09-01-0055	2	1
KSR110	09-01-0054	2	1
KSR50/80	09-01-0054	2	2

タコメーターの設定変更手順



● 数値変更ボタン(文章中[B]ボタン)
● 設定項目切り替えボタン(文章中[A]ボタン)



車両のメインキーをON（車輛によってはエンジンを始動）にし、メーターの電源が入った状態（液晶表示がある）にしてください。

[A]のボタンを押します。
画面に「CYC-」という表示が出ます。
この時、[B]のボタンを押す度に「CYC-2」⇔「CYC-4」と交互に表示が変わります。

ご自分のバイクに合わせ、どちらかを選択してください。
「CYC-」の選択が完了しましたらもう一度[A]ボタンを押してください。

画面に「PIS-」という表示が出ます。
この時[B]のボタンを押す度に「PIS-」の右側の数表示が変わります。
上記で「CYC-2」を選択した場合は1⇒2⇒3⇒4⇒1⇒2⇒・・・となります。
また「CYC-4」を選択した場合は1⇒2⇒3⇒4⇒5⇒6⇒8⇒1⇒・・・となります。
ご自分のバイクに合わせ、選択してください。

すべての設定が完了し、[A]ボタンを押すと設定変更画面から標準画面に戻ります。

エンジン種類[CYC-]、気筒数[PIS-]について

ここでの[エンジン種類、気筒数]はクランクシャフト1回転辺りの発火回数を表すための例えです。
ですから、実際のバイクのエンジン種類や気筒数とは異なる場合があります。

0.5回はクランクシャフト2回転に1回発火を表しています。

クランクシャフト1回転あたりの発火回数	0.5回	1回	1.5回	2回	2.5回	3回	4回
CYC-2（2サイクルエンジンの例え）		PIS-1		PIS-2		PIS-3	PIS-4
CYC-4（4サイクルエンジンの例え）	PIS-1	PIS-2	PIS-3	PIS-4	PIS-5	PIS-6	PIS-8

（PIS-は気筒数の例え）

●ご自分のバイクの発火回数分からない時

エンジン種類は[CYC-2]固定で、まず気筒数を[PIS-4]に設定し、エンジンを軽くふかして表示数値を確認してください。
気筒数[PIS-4]では大抵実際よりも少なく表示されますので、様子を見ながら PIS-3 → PIS-2 → PIS-1 と数値を変えて行くと表示数値が増え、丁度良い設定が見つかります。

モンキー系エンジン、エイブ系エンジン、その他4サイクル1気筒、4気筒のエンジンの多くがクランクシャフト1回転あたり1発火ですので設定は[CYC-2、PIS-1]となります。
2サイクル1気筒のバイクの一部やインナーローター装着車では、クランクシャフト1回転あたり2回発火[CYC-2、PIS-2]の場合があります。